



平常時からの体制づくり

災害発生を想定した体制整備

～阪神・淡路大震災から大切にしてきたもの～

2013.7.9

神戸市保健福祉局健康部

保健事業担当課長 田中由紀子

1. 神戸市の保健活動体制の現状・課題

171名中91名の保健師
53.2%



阪神・淡路大震災を
経験していない

一般職員も含め未経験者が過半数を占める

組織改正に伴う
保健師の**分散配置**



災害対策を含む
地域の健康課題の
共有ができない

新たな災害形態
による**課題の変化**



1指定都市での
対応の限界

2. 神戸市が震災以後取り組んでいること

(1) 神戸市災害時保健活動マニュアルの作成

経験知・ノウハウ
の継承

感謝の気持ち
の継承

経験者が記録に残す

- 経験のない保健師にコラムで…工夫したことや役立ったこと、そのときの状況や気持ちを表現
- 支援を受けた経験と、支援に駆けつけた経験をCD化して全国発信

2. 神戸市が震災以後取り組んでいること

(2) 他都市災害派遣計画

お世話になった

お返ししたい



阪神・淡路大震災で「お世話になった」という
気持ちの共有



今、起こっても派遣できる体制整備

- 年度当初に派遣計画リストの作成
- 防災服、訪問靴などの備品整備

そうすることで・・・

- ・調整時間の短縮により発災直後より派遣が可能
- ・派遣時に職場の同意を得やすい
- ・災害が起きれば、職員として自らが支援に行くという意識をより具体的に持てる。

2. 神戸市が震災以後取り組んでいること

(3) 研修の実施と人材育成

関連職員による共有化



保健活動の理解

- 新人保健師研修
阪神・淡路大震災時の保健活動と被災地派遣での支援活動の様子の**写真・ビデオを視聴**⇒臨場感からイメージ化させる
- 中堅研修
演習形式で**クロスロードを取り入れ**、予測、リスク管理能力を養う
- 災害支援に多職種がチームで関わることから、**関連職種全員が参加**できる研修を実施
- 「**神戸市職員震災人材バンク**」
他都市、団体、大学等からの講演依頼など積極的に受け、災害時保健活動を振り返りながら、語れる職員を一人でも多く育てる

2. 神戸市が震災以後取り組んでいること

(4) 地域における要援護者支援活動

要援護者の支援活動を推進するための 地域への働きかけ

★見守り体制づくり

生活援助員、見守り推進員、小地域見守り連絡会
民生委員友愛訪問活動との連携

★地域ネットワークの仕組みづくり

コミュニティサポートグループの育成

地域福祉センターの設置

★地域活動のコーディネート

★人材の育成

2. 神戸市が震災以後取り組んでいること

(5) 健康危機に強い地域づくり

「神戸モデル」

新型
インフルエンザの
発生



震災対策の経験としくみを
感染症対策に活かす

- **保健師**が地域と顔の見える関係づくりで**地上のリーダー**役を担う
- 避難所の巡回相談、啓発に使った「健康だより」⇒「リアルタイム感染SHOW」に変えて施設・学校等の**地域巡回による発信**

2. 神戸市が震災以後取り組んでいること

(6) 神戸市災害時要援護者支援ガイドライン策定

ガイドライン策定への参画と 平常時の活用

- 「神戸市における災害時の要援護者への支援に関する条例」に基づき、防災訓練の呼びかけ等平常時の支援活動、自助・共助・公助を示す
- 要援護者の特徴と支援する際のポイントを事前に支援者で共有
- 同意を得て災害時要援護者リストを作成し、災害時のみならず**平常時・健康危機管理に活用**



2. 神戸市が震災以後取り組んでいること

(7) 要援護者台帳を活用した活動

- **不発弾撤去**時の避難支援
- **熱中症対策**など独居高齢者などへの注意喚起・見守り活動
- 人工呼吸器装着患者個別の災害対応マニュアルを患者・家族が**計画停電**時にどのように行動するのか関係者と調整しながら作成
- **東南海トラフ津波**想定ハザードマップへの患者の落としこみ

3. 東日本大震災で取り組んだこと

(1) 後方支援本部の設置⇒その役割と重要性

- 情報収集と事前準備**⇒派遣職員の安全確保、効果的活動のために正確に情報を把握し、必要な資材を確保する等
- オリエンテーションの実施**⇒地域のキーマンにいたるまで詳細の情報を提供や「心の健康について」助言を行い、不安を取り除く
- 派遣元からの情報提供と活動状況が寸時に伝わる連絡体制の整備**⇒二次災害を予防、余震発生時等の安否確認が可能
- 活動終了後のフォロー**⇒デブリーフィング「振り返りの会」を開催し、職場と連携の上、派遣職員の心身変化へ対応

派遣元は、派遣させたままにせず、後方支援を継続することが職員の安心感と志気を高め、現地活動終了後も一体感を維持



3. 東日本大震災で取り組んだこと

(2) 後方支援本部による被災自治体との連絡調整

- 被災地を支援する保健所、派遣自治体等関係職員との**連携調整**とメール、電話、現地訪問による**相談、助言、励まし**のサポート
- 被災自治体との連絡調整は支援側と受援側の**信頼関係を築き**、被災自治体からの明確な指示と支援者側からの先の見据えた活動のあり方の提示によりの**的確なマッチングが可能**
- **部課長級による調整班の編成・派遣**

3. 東日本大震災で取り組んだこと

(2) 後方支援本部による被災自治体との連絡調整

部課長級職員を派遣 (医師1名、保健師1名、事務職員2名)

- 保健活動の現状確認、役割分担、スケジュール、健康支援方法の具体的対策案を提示、これをベースに被災地が成案を作成
- 被災地と後方支援本部、派遣関係者、支援仲間をつなぐ
- 長期派遣期間、派遣終了後も被災地と被災地職員を見守りつつ復興を支援するために支援の役割と活動の方向性を定める

3. 東日本大震災で取り組んだこと

(3) 現地活動を支える組織一体の取り組み

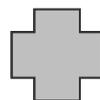
多職種チーム編成による 多様な支援のありかた

- 被災自治体への間接的支援⇒記録・資料・経験と教訓を踏まえた活動マニュアルの提供など
- 被災自治体の代行⇒事務職員の活躍で住民の健康状態や保健活動にかかるデータ及び関係資料の整理
- 記録のまとめに関する助言
- 派遣は無理でもテイクアウトならOK

4. 東日本大震災以後取り組んでいること

(1) 神戸市災害受援計画

阪神・淡路大震災
受援者



東日本大震災
支援者

「両方の立場を経験したことから得られた教訓」

支援を行う側が被災自治体の負担とならないよう十分配慮することと、あわせて支援を受け入れる側もすみやかに受け入れ体制を整えられるよう、あらかじめ「受援計画」をまとめておくことが効率的・効果的である。

「神戸市地域防災計画」の下に策定



4. 東日本大震災以後取り組んでいること

(1) 神戸市災害受援計画

- 策定過程で保健師を含む東日本大震災に派遣された職員がワークショップやアンケート調査に参画
- 実用的なマニュアルとして活用していく
- 業務継続計画(BCP)⇒応援して欲しい業務の優先順位をつけておく
- 応援要請シート及び受援シート(業務フロー等)の作成
- 支援者に必要な地区情報を提供できる



4. 東日本大震災以後取り組んでいること

(2) 関係団体との相互応援協定の締結

★ 災害時における応急医療及び救護の協力に関する協定を締結

- ・神戸市医師会
- ・神戸市歯科医師会
- ・神戸市薬剤師会
- ・兵庫県看護協会

⇒救護所(歯科救護所)への専門職の派遣

★医薬品等の供給協力に関する協定

- ・神戸市薬剤師会⇒まちの薬局による備蓄が可能

★看護協会⇒登録災害支援ナースの養成と派遣



4. 東日本大震災以後取り組んでいること

(3) 地域診断の実施

- 支援を受ける立場として、職員が被災し、道先案内が不可能でも支援者に委ねることのできるように**地域情報の集約・整理**が必要⇒医療機関、地域のキーパーソン・集会所、福祉サービスなど
- 保健師の人材育成計画で23年度より地域診断を**区単位で実施**
- 区における保健師の定期的連絡会の開催により「**業務分担を越えた地域の情報・課題の共有**」を定着化させる



5. 今後の課題と対策

- 防災組織計画では、保健師は所属する部署の分掌事務に従うこととされている⇒**保健活動を統括するためには、災害対策においても感染症対策と同様に保健所職員としての一括配置を検討していく必要**
- 今後統括部署において**保健活動に関する情報整理、情報管理、危機管理室等関係部署との情報共有が必要**
- 今後の見直しにあたり**保健活動の調整窓口**を定め、関係部署との**連携、調整**できることを**提案**している
- 分掌事務に示された保健活動は「神戸市災害時保健活動マニュアル」に基づいて**実施**することを**明記**する
- 「近畿東海5都市保健師業務担当者会」で災害時保健活動に向けた、**近隣自治体間での支援体制についての意見交換**



6. 最後に

～「災害経験がなくても被災地に入れる神戸市の保健師」～

- 組織の意思決定として「**災害が発生すれば日本必要な支援活動にできる限りを尽くす**」
- 常に、ニーズを考えて「何ができるか」を問いかける訓練
- 長い復興の道のりで被災を経験した市民に寄り添いながらの保健活動から学ぶ
- 災害時に活躍した先輩保健師が誇り